

SAKAI
MASTERS OF COMPACTION



Compaction Meister

Compaction Meister



転圧管理システム **Compaction Meister (CCV付)**

初期化時間の大幅な短縮と操作性を一段と向上させた
クラウドネットワークを用いた
新たな転圧管理システム

多様な締固め管理

- 回数管理
- CCV管理
- 温度管理(オプション)
組み合わせ管理可能
- 施工進捗は事務所でも確認可能

操作性の向上

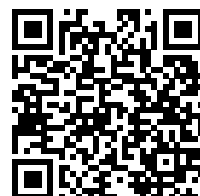
- 設定・操作ガイドで設定と帳票が可能
- アンテナ取付寸法は機種選択による自動入力
但し、対象機種に限ります

低コストなシステム

- 携帯電話サービスエリア内なら本システムのみでVRS-RTK測位の利用可能
但し、補正情報配信サービスの契約が別途必要
- 現場に設置された基準局を利用することができます
但し、GNSS受信機や無線装置が別途必要

製品の詳しい情報はホームページをご覧ください。

www.sakainet.co.jp



専用動画へアクセスできます。
チャンネル内で「転圧管理システム」を検索してください。

誰でも簡単に 見える使える シメカタメ =



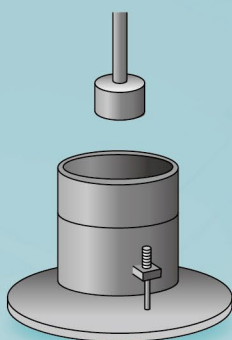
締固め品質の
確認と管理を
さらに便利に!!



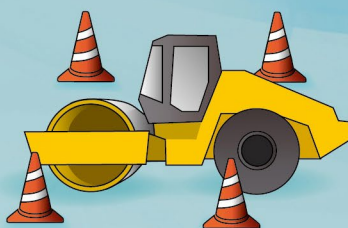
▼ 施工仕様の決定支援

ベストな
転圧回数
CCVをご提案

室内試験と試験施工に基づいたベストな転圧回数とCCV基準値をご提案します。



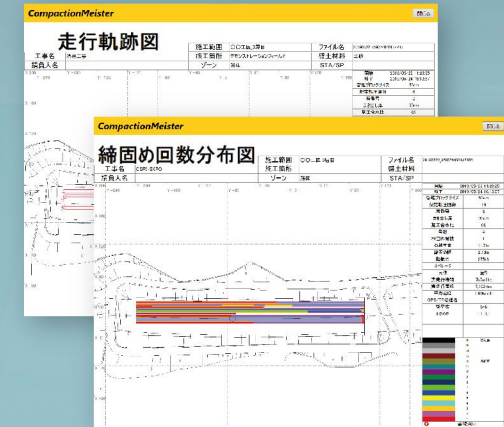
室内試験
(品質管理基準)



試験施工
(乾燥密度、CCV、転圧回数)



Compaction Meister



国土交通省「TS/GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」準拠



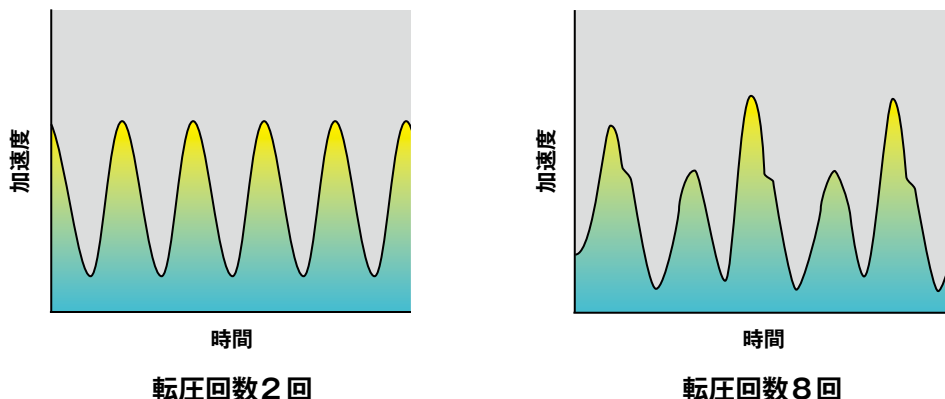
転圧管理システム *Compaction Meister*

CCVとは

SAKAIは1990年代から土の締固め度の見える化を研究してきました。振動ローラで計測できるデータを解析して得られた数値は、乾燥密度が低いときには小さく、乾燥密度が高いときには大きくなることが分かりました。その数値をCCV(Compaction Control Value)として締固め度の指標としております。

CCVの測定原理

振動輪にセンサを取り付け、振動輪の動き(加速度)を計測します。転圧回数の増加に伴う加速度の変化を下図に示すと、



転圧回数2回の軟らかいときはきれいな上下運動をしていますが、転圧回数8回の硬いときは上下運動に乱れが見られます。CCVは、この変化を捉えて数値化しています。

CCVの適用

軟弱な地盤材料(シルト、粘性土)や高含水比の土の場合、振動輪の上下運動を正確に計測できないため原則的に適用できません。また、土の含水比、層厚、下層の地盤強度、振動ローラの起振力・振幅・振動数・車両速度の変化によってもCCVは大きく変動します。乾燥密度とCCVの相関をよくご確認の上ご利用ください。

CCVの活用

試験施工から本システムをご利用いただくことで、乾燥密度とCCVの相関性を確認することが容易になります。簡単な操作で各転圧回数のCCVデータを整理することができ、規定転圧回数だけでなく、CCV基準値も容易に決定することができます。

概略仕様

電源電圧(V)	12 / 24 共通
使用温度環境(°C)	-10 ~ 50
使用湿度環境(%)	85

ディスプレイ仕様

寸法(H×L×W) mm	76 × 351 × 220
表示部	10.1 インチワイド
耐振動	MIL-STD810G 準拠
保護等級	IP67



本社 〒105-0012 東京都港区芝大門1-4-8 浜松町清和ビル TEL.03-3434-3401(代)
札幌営業所 TEL 011-846-8455 広島営業所 TEL 082-227-1166
仙台営業所 TEL 022-231-0731 福岡営業所 TEL 092-503-2971
関東営業所 TEL 0480-52-6156 グローバルサービス部 TEL 0480-52-1111
名古屋営業所 TEL 052-702-3141 研修センター TEL 0480-52-6964
大阪営業所 TEL 072-654-3366

標準セット内容

- ディスプレイ ●GNSSアンテナ ●接点ユニット
- CCVコントローラ ●CCVセンサ ●接続ケーブル一式
- Compaction Meister 設定・操作ガイド